

Monthly Report

SENDAI UNIV.
PUBLIC RELATIONS

Vol.192 / 2022 .APR

(月1回発行)

令和4年度入学式を挙行了しました



新入生代表の宣誓を務めた大石優希さん（体育学科）

令和4年度 仙台大学第56回体育学部並びに第25回大学院入学式を4月5日に本学第5体育館で挙行之、体育学部650名（うち、体育学科349名、健康福祉学科101名、スポーツ栄養学科64名、スポーツ情報マスメディア学科56名、現代武道学科48名、子ども運動栄養学科28名、転編入生4名）及び大学院11名が入学しました。

昨年に引き続き、式は新型コロナウイルス感染予防対策から学生と教職員のみの出席に限定し、時間を短縮して執り行いました。

新入生代表の大石優希さん（体育学科・盛岡第三高校卒）が「私たちは、体育・スポーツ・健康に関わる諸科学を探究し、これからの時代の担い手となるよう、身体を鍛え、教養を深め、心を磨き、豊かな学生生活を送るよう、努力してまいります」と力強く宣誓しました。

なお、式典の様子は仙台大学公式YouTubeチャンネルでLIVE配信しました。

〈学長式辞要旨・高橋 仁〉

オリンピックなどのトップアスリートが集うスポーツだけでなく、日常生活の中にあるスポーツにも大きな価値があります。本学では、アスリートの育成とともに、スポーツによる地域貢献やボランティア活動にも力を入れています。今から11年前、皆さんがまだ小学生のころに発生した東日本大震災の際にも、避難所での健康運動など、さまざまなボランティア活動を行いました。現在も、災害時のボランティアだけでなく、地域の皆さんの健康づくりや中学校の部活動の支援など、多様な活動を行っています。キャンパスの中だけでなく学外でも学ぶべき事はたくさんあります。新型コロナウイルスの影響でまだ多くの制限はありますが、感染予防対策を講じながら充実した大学生活を送る事ができるようさまざまな機会を提供していきますので、皆さんには積極的に活用してほしいと思います。

失敗を恐れず、さらに一歩踏み出す勇気を持っていろいろな事に挑戦していきましょう。



〈目次〉

・令和4年度入学式を挙行了しました	1
・【スポーツ情報サポート研究会】活動報告会を開催しました ・みる・する・ささえるスポーツ！音で伝えるスポーツ情報Podcast ・白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会が記念誌を発刊しました	2
・現代武道学科の学生有志による「防犯ボランティア活動」に対して感謝状 ・男子ハンドボール部の佐藤蓮と木戸将史が全国大会準決勝の審判を担当 国内トップの審判を目指す！	3
・硬式野球部/仙台六大学野球春季リーグ開幕から4連勝で首位快走中	5
・本学の佐々木琢磨職員が3度目のデフリンピックへ ・「高校スポーツの安全を守る」Vol. 48	6
・令和4年度新任者紹介	7 ～ 10

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報課までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報課までご一報ください。

仙台大学 広報課

直通 0224 - 55 - 1802

Email kouhou@sendai-u.ac.jp

【スポーツ情報サポート研究会】活動報告会を開催しました

4月12日（火）B103教室で、「スポーツ情報サポート研究会」の令和3年度活動報告会を開催しました。

本研究会では、現在約30名の学生が「情報戦略」と「メディア」の2つの側面から、各部活動の競技力向上支援や広報活動に取り組んでいます。

異なる競技の部活動に所属している学生同士は普段交わる機会が少ないですが、「情報」というキーワードで繋がり、大変有意義な時間を過ごすことができました。あらゆる情報資源を競技力向上にどのように繋げたら良いか、他の競技から学ぶ部分もあったかと思えます。メディア活動に取り組む学生は、本学サークルの取材や撮影を行い、PR動画の制作や学内外に向けた広報活動に取り組んでいました。

今回は研究会所属学生と担当教員の他、スポーツ情報マスメディア学科1年生の皆さんにも参加してもらい、普段どのような活動を行っているのかを知ってもらう良い機会となりました。報告会終了後に早速、入会希望者の学生が先輩のところへ話を聞きに行く姿もありました。

今後も研究会では勉強会等を開催し、各々の活動の幅を広げられるように実践を通した学びの場を増やしていきます。

<スポーツ情報マスメディア学科>



みる・する・ささえるスポーツ！音で伝えるスポーツ情報Podcast

スポーツ情報マスメディア学科で、スポーツに関する様々な情報を発信するPodcastチャンネルを開設しました。現代はインターネットの普及やICT利活用が急速に進み、情報化社会とも言われています。これはスポーツ界においても同様で、最新テクノロジーを駆使することであらゆる情報が「可視化」されるようになり、チームの競技力向上やスポーツ中継にも多様なデータが活用されています。本学科では情報戦略とマスメディアの両分野において、情報の収集・加工・分析・提供方法について実践を通した学びを深めています。



成長途上の学生たちがそれぞれの専門分野で、現場での実習や演習を通して感じたことを読者の皆さんにお届けする「とうほく報知」では学生たちの思いをコラム形式で掲載しています。普段とはひと味違う学生目線で書かれた、ぎこちないながらも熱量たっぷりの原稿をお届けします。

※本チャンネル内で取り上げる記事の中には、本学学科学生が、教員の指導の下作成し新聞社等に寄稿した記事を確認許諾を頂き、使用しております。このポッドキャストではスポーツニュースだけでなく、スポーツに関する様々な情報を学生目線で学内外の話題を発信していく予定です。

<スポーツ情報マスメディア学科>

白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会が記念誌を発刊しました

本学は白石市・柴田町と共に東京オリンピックの新体操競技に出場したベラルーシ共和国新体操ナショナルチームのホストタウン事業として2016年から東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会を発足し、これまで5年間に渡って事前合宿などに取り組んできました。

今回、その集大成として記念誌を発刊しましたのでお知らせします。

本学HPより是非ご覧ください。



現代武道学科の学生有志による「防犯ボランティア活動」に対して感謝状

4月25日、防犯ボランティア活動を行った現代武道学科の学生有志に対し、宮城県警察本部生活安全部長から送られた感謝状を高橋仁学長からひとり一人に手渡されました。

感謝状を贈られた学生5人は、現代武道学科で社会の安全・安心概論を学ぶ2年生の大向健太さん、木村賢斗さん、小川あすみさん、菅野彩水さん、佐藤萌杏さんの5人で、県警生活安全部からの要請に応じて、昨年夏休み期間等を活用し、船岡小学校周辺の防犯マップを作成し、地元ボランティア団体の皆さんとともに防犯見守り活動を行いました。

学生はそれぞれ、「安全・安心に関わる活動の重要性を認識することができた」、「地域の皆さんに貢献できてうれしい」、「めったに入ることのできない学長室で感謝状をいただき、うれしい」などと話し、社会貢献活動に対する気持ちを新たにしていました。



男子ハンドボール部の佐藤蓮と木戸将史が全国大会準決勝の審判を担当 国内トップの審判を目指す！

3月26日(土)～29日(火)に富山県氷見市で行われた、第17回春の全国中学生選手権大会に男子ハンドボール部の佐藤蓮(健康福祉4年)と木戸将史(スポーツ栄養4年)が、ペアで審判として参加しました。全国大会を担当できる審判は、高レベルの審判ライセンスを取得かつ、各ブロック(東北地区)からの推薦を得られた審判のみです。さらに、今大会において二人は男子準決勝を担当しました。大会に参加する数多くの審判の中で準決勝を担当できるのは、4ペア(8名)だけです。惜しくも決勝の担当までには至りませんでしたが、さらなる研鑽を積んで、次の機会にはファイナルを目指します。男子ハンドボール部では、競技者のみならず、競技を「支える」審判の育成にも力を注いでいます。



写真左

佐藤 蓮(サトウ レン) 健康福祉4年

出身 : 宮城県仙台市(宮城県立利府高等学校出)

写真右

木戸 将史(キド マサフミ) スポーツ栄養4年

出身 : 福島県福島市(聖光学院高等学校出)

<男子ハンドボール部>

12年連続Jリーガーを輩出！男子サッカー部の栗野健翔が来季J3福島ユナイテッドFCに加入内定および今季JFA・Jリーグ特別指定選手に承認されました

男子サッカー部の栗野健翔（体育4年）が福島ユナイテッドFC（J3）に来季加入が内定し、日本サッカー協会より今季「JFA・Jリーグ特別指定選手」として承認されましたのでお知らせします。

これで男子サッカー部は12年連続でJリーガーの輩出となります。



【プロフィール】

■ポジション：MF

■生年月日：2001年1月5日（21歳）

■身長/体重：162cm/60kg

■出身：山形県上山市（仙台大学附属明成高出）

■チーム歴：

西一サッカースポーツ少年団→SFCジェラレー→マルバ山形→ベガルタ仙台ジュニアユース→ベガルタ仙台ユース→仙台大学

【コメント】

小さい頃からの夢だったプロサッカー選手になることができとても嬉しく思います。また、福島ユナイテッドという素晴らしいクラブでプロ生活を送れることを非常に楽しみにしています。

ここまでこれたのは、これまでのサッカー人生で携わった監督、コーチ、関係者の皆様のお陰でもあります。そして、福島ユナイテッドのために少しでも貢献できるよう努力します。

応援よろしくお願いします。

男子バレーボール部の倉茂涼がヴィクトリーナ姫路（V1）アナリストへ

先月本学を卒業した男子バレーボール部の倉茂涼が、ヴィクトリーナ姫路（バレーボール女子Vリーグ Division1）に入団いたしました。

これでVリーグのスポーツアナリストとしては、通算5人目の輩出となります。



【プロフィール】

倉茂涼（くらしげ りょう）

令和3年度 スポーツ情報マスメディア学科卒業

■ポジション：スポーツアナリスト

■生年月日：1999年6月21日（22歳）

■出身：新潟県燕市（新潟県立巻高校出）

【コメント】

ヴィクトリーナ姫路さんにアナリストとして入団させていただくことになりました。チームに必要な存在になれること、終盤の1点を自分のデータで取れることができたと言って貰えるようなアナリストになれるよう、日々努力していきます。

硬式野球部/仙台六大学野球春季リーグ開幕から4連勝で首位快走中



4月9日（土）仙台六大学野球春季リーグが仙台市・東北福祉大学野球場で開幕しました。
今季は各大学2戦先勝方式の総当たりによる勝ち点制で優勝を争います。
本学硬式野球部は第1節に宮城教育大学、第2節に東北工業大学と対戦し、いずれも勝利しました。
現在4戦全勝で首位となっています。

○1回戦（4月9日） 対 宮城教育大学（9-0）○ 七回コールドゲーム
 仙台大 041 202 0=9
 宮教大 000 000 0=0

先発の長久保（体育4年）が5回をリズムの良い投球で無失点に抑え1勝目、打線は二回に7番三原（体育3年）の先制3ランなど14安打放ちコールド勝ちとしました。

○2回戦（4月10日） 対 宮城教育大学（11-4）○ 八回コールドゲーム
 宮教大 040 000 00=4
 仙台大 015 002 12=11

二回に4点を先制されるも、その裏に1点を返し、続く三回には坂口（体育3年）の2ランなど4安打5得点で逆転し、勢いに乗るとその後も得点を重ねコールド勝ちとしました。

○1回戦（4月16日） 対 東北工業大学（9-0）○ 七回コールドゲーム
 仙台大 041 100 3=9
 東工大 000 000 0=0

打線は二回に松嶋（体育4年）の先制2ラン本塁打で勢いに乗ると14安打を放ち9得点。先発の長久保（体育4年）は5回を被安打3の無失点で2勝目を挙げました。

○2回戦（4月17日） 対 東北工業大学（8-0）○ 七回コールドゲーム
 東工大 000 000 0=0
 仙台大 000 305 ×=8

先発の川和田（体育3年）が被安打7の無失点で2勝目。打線は四回に今季2本目となる坂口（体育3年）の2ラン本塁打など3点を奪い、六回には打線が繋がりを5得点を挙げ突き放しました。

○今後の日程について
 4月29日10:30～ 対 東北大学
 4月30日13:00～ 対 〃
 5月 7日10:00～ 対 東北学院大学
 5月 8日13:00～ 対 〃
 5月21日10:00～ 対 東北福祉大学
 5月22日13:00～ 対 〃

○会場
 東北福祉大野球場
 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘7-146
 TEL022-279-8911

本学の佐々木琢磨職員が3度目のデフリンピックへ

5月1日からブラジル（カシアス・ド・スル）で開催する第24回夏季デフリンピックの陸上競技（男子100M、男子200M、4×100リレー、4×400リレー）に出場する佐々木琢磨職員と同大会のコーチとして帯同する名取英二教授（本学陸上競技部部長）が4月11日に朴澤泰治理事長と高橋仁学長へ出場の報告をしました。



佐々木職員はこれまで2013・2017年のデフリンピックに出場し、2017年では4×100リレーで金メダルを獲得しています。

また、2021年にポーランドで開催された世界デフ陸上選手権の男子100Mでは日本人初となる銀メダルを獲得しました。

今大会に向けて佐々木職員は「世界デフ陸上選手権では銀メダルという結果にとっても悔しい思いをしました。今大会では自己ベストを更新し、金メダルを取ることが目標です」と決意を話してくれました。

川平キャンパスAT・S&Cレポート

「高校スポーツの安全を守る」Vol. 48

助手 今野 桜

4月から新学期が始まり、仙台大学川平ATルームでは普段の部活動中の怪我や体調不良の対応などに加えて新入生のフィジカルチェックや傷害予防講習会などを行っています。

4～5月にかけては、1年の中でも特に怪我の発生率が高く、入学してきたばかりの1年生が怪我をして離脱するケースが多くあります。そのため、川平ATRでは生徒の入学時の体の特徴を把握し、なるべく早い時期から一人一人の弱点を克服し始め傷害予防につなげる事を目的として新入生のフィジカルチェックを行っています。現時点でほとんどの特定研究指定部活動のフィジカルチェックが終了しました。それぞれの部活動ごとの特徴や競技特性による違い、例年と比較しての違いなど、結果を見比べると様々な良い部分と改善が必要な部分が見えてきました。運動部に所属する生徒は、5～6月に高校総体という大事な大会を控えています。大会前に怪我をして試合に出場できなかったり、出場しても思うようなプレーができなかったりと言ったことが減るように、なるべく早いうちにフィジカルチェックのフィードバックをして、生徒自身が自分の体の特徴を把握し日々のケアやトレーニングに励んでほしいと思います。



フィジカルチェックの様子



講習会の様子

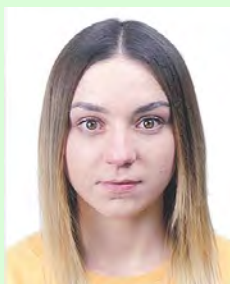
令和4年度 新任者紹介

教員8名 事務職員4名 新助手10名 臨時職員6名 計28名の皆さんが着任いたしました。

教員

やまうち はるき 山内 明樹 教授 (学校防災・教職) 	学校教員、教育委員会職員として37年間勤務。東日本大震災以後は、被災地の高等学校、教育委員会担当課で学校教育の復興に携わってきました。仙台大学との出会いに感謝します。	あんどう あゆみ 安藤 歩美 講師 (スポーツ情報マスメディア学科) 	新聞記者、ニュースサイトの立ち上げ、テレビやラジオなどに関わってきました。 さまざまなメディアでの経験を生かして、聞くこと、伝えることの面白さを学生に教えられたらと思います。
ほうざわ けんじ 朴澤 憲治 准教授 (経済学、経営学) 	生命保険会社やWEBマーケティング会社など民間企業で働いてきました。その経験を活かし、学生の皆さんには社会に出てから私の授業や演習で勉強してよかった。と思ってもらえることを目標にしたいと思いま	いとう あいり 伊藤 愛莉 助教 (教育行政学) 	大学院で得た知識や経験を活かし、教員や指導者を目指す学生さんのサポートができればと思っています。学生みなさんの考えを聞いたり、共に学ぶことを楽しみにしています。
なんじょう まさと 南條 正人 准教授 (社会福祉) 	短期大学・大学に15年間勤務し、社会福祉士、介護福祉士、福祉レクリエーション・ワーカーの養成に携わりました。 他大学の社会福祉士養成校での経験を活かして仙台大学の発展に貢献できるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。	うめつ りゅう 梅津 龍 助手 (スポーツ栄養) 	今年度から助手として勤務することとなりました。 現在はマイナビ仙台レディースへの栄養サポートや明成高校部活動の栄養支援等を行っております。現場での経験を仙台大学に還元できるよう尽力いたします。
はしもと ちあき 橋本 智明 准教授 (情報教育、メディア文化、芸術学) 	大学の情報教育やメディア教育などを通して、学生の皆さんのメディアリテラシー向上に貢献できるように頑張っていきます。所属はスポーツ情報マスメディア学科です。どうぞよろしくお願いいたします。	じん きょうへい 神 恭平 助手 (スポーツ栄養) 	昨年度まで新助手で、今年度から助手になりました。至らぬ点が多いかと存じますが、前向きに業務に邁進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。

職員

おおとも きよし 大友 清 職員 (学生生活課) 	今春、宮城県警察を定年退職し、本大学で勤務させていただくことになりました。前職とは全く違う仕事内容ですが、明るく精一杯、頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
たまおき ひろやす 玉置 裕康 職員 (教務部) 	31年間銀行に勤務し、縁あって仙台大学で勤務することになりました。社会経験を活かして仙台大学の運営に貢献できるよう努めていきたいと思っています。
はしもと だいすけ 橋本 太輔 職員 (嘱託研究員) 	今年度より嘱託研究員として任用となりました。国際交流課業務・空手道の授業・空手道部の指導が主な担当となります。在学中に得た知見や、中国での経験を母校に還元できるよう尽力して参ります。
セベツェアリーナ 職員 (嘱託研究員) 	3年前にベラルーシから来て、ホストタウン（白石市・柴田町・仙台大学）の親善大使をしていました。 今年度は国際交流課とロシア語の講義を担当します。よろしくお願いいたします。

新助手

すずき あやな 鈴木 彩菜 新助手 (スポーツ栄養学科) 	今年度よりスポーツ栄養学科の新助手として勤務させていただきます。本学で学んだことを活かし、仙台大学の発展に貢献できるよう誠心誠意努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
よしむら ひろき 吉村 広樹 新助手 (スポーツ情報マスメディア学科) 	本学卒業後はスポーツ映像分析ソフトの営業、アナリストとしてスポーツの現場に3年間携わってきました。スポーツITの世界に挑戦する学生の為に、毎日全力でサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。
おちあい ゆき 新助手 (漕艇部) 	二年前に卒業し、他の大学院で国際教育協力について知見を深めてきました。 この度は、所属していた漕艇部に携わる機会をいただき、大変嬉しく思います。漕艇部、さらに仙台大学に貢献できるよう、努めてまいります。
ほしや ゆうすけ 星谷 勇佑 新助手 (トレーニングセンター) 	本年度よりトレーニングセンターでアシスタントS&Cスタッフとして働かせていただきます。仙台大学の卒業生として同じS&Cを目指す学生の希望となれるよう頑張っていきます。

新助手

さかた かずや 坂田 和也 新助手 (男子サッカー部) 	今年度よりお世話になります。主に男子サッカー部の指導を担当いたします。ご縁があり母校である仙台大学で仕事をできることを嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。	ぶんご あやか 豊後 彩香 新助手 (女子サッカー・附属高校実 施支援者) 	今年度より新助手として勤務させていただきます。女子サッカー部のコーチをしながら明成高校での勤務を行います。母校である仙台大学と明成高校の発展のために精一杯力を尽くしていきます。よろしくお願い致します。
おおうち もえこ 大内 萌子 新助手 (健康運動サポート事業) 	本年度から母校である仙台大学に、新助手として着任致します。運動指導を志す学生のサポートを通して、本学に貢献できるよう努めて参ります。皆様ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。	ふかつ こうすけ 深津 孝祐 新助手 (大学GT・男子サッカー) 	今年度より大学GT及びサッカー部の指導をさせていただきますことになりました。仙台大学と明成高校の発展に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。
かの 鹿野 あかり 新助手 (スポーツ科学研究実践機 構事務課) 	今年度から新助手として勤務させていただきます。 少しでも大学に貢献できるよう、努めて参ります。 ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。	てらち ゆうじろう 寺地 祐次郎 新助手 (大学GT・体操競技) 	今年度より新助手・大学GTとして採用していただくことになりました。仙台大学及び仙台大学附属明成高等学校の発展に貢献できるよう、責任と覚悟を持って務めさせていただきます。よろしくお願い致します。

臨時職員

わがつま さり 我妻 紗理 臨時職員 (学生支援課) 	学生がよりよい学生生活を送れるよう精一杯サポートしていききたいと思います。 至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。	すずき ともゆき 鈴木 智之 臨時職員 (研究実践機構) 	今年度より、健康科学研究実践機構に勤務させていただきます。一日でも早く、皆さんのお力になれるよう全力で頑張ります。 至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。
ましこ まさき 増子 昌希 臨時職員 (学生支援課・施設管理課) 	今年度より臨時職員として学生支援課と施設管理課で働かせていただきます。 学生が充実した生活を送れるよう全力でサポートしていきます。 よろしくお願いいたします。	はちや やすのり 八矢 泰徳 臨時職員 (男子バレーボール部) 	男子バレーボール部のコーチとして指導をさせていただきます。仙台大学の発展、また男子バレーボール部の競技力向上に貢献できるように精進して参りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い
しおぬま なおき 塩沼 直希 臨時職員 (学生支援課) 	今年度から学生支援室で臨時職員として勤務させていただきましたことになりました。学生がよりよく学生生活を送れるように全力でサポートしていききたいと思います。 よろしくお願い致します。	ほんごう たかし 本郷 貴志 臨時職員 (学生募集) 	この3月まで明成高校にいましたが、縁あって仙台大学に参りました。これからは皆さんの後輩となる学生の獲得のため努力したいと思います。

～仙台大学教職員の共通理解事項～

仙台大学の「建学の精神」、「基本理念」、「使命・目的」

建学の精神

「実学と創意工夫」

仙台大学の経営母体である学校法人朴沢学園(明治12年開設)の学園創始者は、建学の精神として「実学と創意工夫」を掲げ、「創意工夫と先見性をもって実学を志し、実学に根ざした人格形成と人材育成を図る」ことをもって先進的な女子教育を行い、寺子屋方式に代え一斉教授法を導入し明治時代の裁縫教育に一大革新をもたらした。

その考え方は、体育系単科大学として昭和42年に開学した本学にも受け継がれ、人格形成の要素である体育・徳育・知育のうち「体育」に教育・研究の重点を置きつつ、実学と創意工夫に根差した広い教育研究領域を探究することに継承されてきた。

なお、建学の精神の意図するところについては、開学時の第1回入学式・初代学長告辞にも「社会で充分活動できるため

基本理念

「スポーツ・フォア・オール」

仙台大学は、昭和42年、単一学部・単一学科で開学した。その後、平成7年度以降、順次学科を増設し、現在では6学科構成としている。また、学科増設に加え平成10年度には大学院スポーツ科学研究科(修士課程)も新設している。こうした教育研究領域の拡大に伴い建学の精神を基盤に据えつつ、大学の新たな基本理念として定めたのが「スポーツ・フォア・オール」である。

「スポーツ・フォア・オール」とは文字通り「スポーツは健康な人のためだけでなく、すべての人に」を、すなわち「乳幼児から元気なお年寄りはもちろん、寝たきりのお年寄りまで。そして、性別や障がいの有無を問わず、トップアスリート、生活の中での楽しみや健康の励みとしてスポーツをする人、スポーツをみることが好きな人、スポーツをささえる人などすべての人を対象としてスポーツを科学的に探究すること」を意味している。

使命・目的

基本理念を踏まえた仙台大学の使命・目的は、仙台大学学則第2条および仙台大学大学院学則第2条にそれぞれ示している。

■仙台大学学則 第2条

本学は、体育・スポーツ、健康福祉、スポーツ栄養、スポーツ情報マスメディア、現代武道及び子ども運動教育に関する諸科学を教授研究し、当該分野における指導者としての専門的知識と技能を体得させるとともに、高い識見と広い視野とをもって、社会の指導的な役割を果し得る有能な人材を育成することを目的とする。

■仙台大学大学院学則 第2条

本大学院は、広い視野に立って、体育・スポーツ、健康福祉、運動栄養、スポーツ情報マスメディア、現代武道及び子ども運動教育に関する学術の理論と応用を教授研究し、当該分野における高度の専門的な職業等を担うための卓越した能力を培い、もって体育・スポーツ及び健康分野の発展に寄与する有為な人材を育成することにより、広く社会に貢献することを教育研究上の目的とする。

その他 (リンクを貼っていますので、項目をクリックして閲覧ください)

■人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的(仙台大学学則別表第一)

■3つのポリシー ①学部 ②大学院

③体育学科 ④健康福祉学科 ⑤スポーツ栄養学科

⑥スポーツ情報マスメディア学科 ⑦現代武道学科 ⑧子ども運動教育学科

■朴沢学園中期経営計画

■事業計画